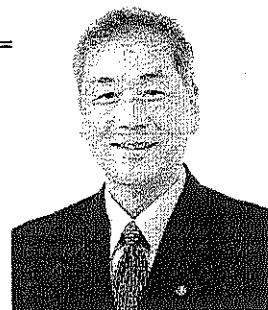
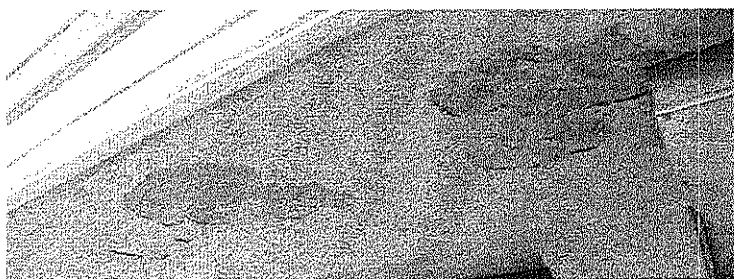


こんにちは、 日本共産党井上けんじです



日本共産党南地区委員会 ☎ 371-9164 自宅 ☎ (F兼) 691-3323 (携帯) 090-7880-9442
 日本共産党京都市会議員団 ☎ 222-3728 FAX 211-2130
 市議員団ホームページ <http://cpgkyoto.jp/> E-mail info@cpgkyoto.jp 2018年7月8日号



市営住宅の廊下の天井の壁がはがれている↑



ヘルスピア北側のブロック塀も要点検 ↑

ブロック塀などの点検を急げ 被災者支援の充実、安全対策に万全を

6月18日朝の地震の直後、井上議員のもとにも、住民の皆さんから様々な情報やご相談が寄せられました。「市営住宅のエレベーターが動かない」「天井の壁がはがれて落ちた」「ガスが止まってしまった」等々。同議員も関係する役所窓口へ電話しましたが、区役所や南消防署等ではつながらず、直接訪問。対応を求め、また区内で被害状況や対策について聞き取り、職員を

激励しました。通勤時間帯に鉄道が止まって出勤できない職員もおられ、住民を応援すべき役所の態勢としては課題を残した格好となりました。井上議員は、同21日の市議会まちづくり委員会で質問。また他の委員会でも、同僚議員が分担して質問、更に、党議員団としても、対応に万全を期すよう市長に申し入れました。高槻市では、ブロックの犠牲になり小学生

が尊い命を奪われました。京都市でも、市立学校の塀の総点検が実施されています。井上議員らは、通学路、公共施設だけでなく、民間も含めた市内全域の

総点検とともに、民間への支援、被災者支援、ブルーシートの貸出なども要求しました。当面の対策として、市において、ブロック塀などの安全対策（除去工事）に要する費用の一部（上限15万円）の補助が実施されることになりました。

違反営業は、市に指摘・摘発を

百聞は一見に如かず

民泊ウオッチャー

6月23日午後、市政の重要課題である民泊について、井上議員が実態調査。呼び掛けに応じて参加して頂いた区民の皆さんとともに京都駅周辺を歩きました。少なくともチエツ

クインの時には営業者が居なければならぬのに、番号鍵だけで不在と思われる施設がほとんどでした。もちろん違反です。市にも指摘・摘発の予定です。これまでの例では、市の腰は極めて重い

固定資産税の「非課税」が実現

東和学区のAさん。井上議員の紹介により、自宅前の道の固定資産税「非課税」を申請、認められ、適用されることになりました。この制度は、①道幅が一・五m以上、②現在一般の通行に提供し

両端が固定資産税を課すことのできない道路に接していること、を条件に、申請により道の部分が非課税となるものです。元々別のご相談対応中に紹介したものですが、もっと早く制度紹介しておくべきでした。済みません。

夏季生活資金貸付

- ◎ 7月10日(火)～12日(木)、各日3時迄。印鑑と家族構成の分かるものを持参。無利子無担保。
- ◎ (於) 区役所東側ヘルスピア1階。
- ◎ 一人3万円(目安)、一世帯15万円限度。生活保護受給世帯は借りられません(日本共産党は一律対象外でなく委細面談・臨機応変を要求。また全般に額の増額や貸出期間の通年化等を要求しています)。